

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム和楽の家久米

目標達成計画

作成日: 平成 23年 12月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	入居者様の疾患と内服しておられる薬の効能や副作用についての理解が薄い。	入居者様の疾患と薬について全職員が理解する。	薬局からの内服薬の情報書を確認し、薬局の薬剤師の先生より、月1回の講義を受け、薬の効能や副作用について理解する。	12ヶ月
2	33	ターミナルケアに向けての職員教育、体制作りが不可欠である。	入居者様、ご家族様の思いを受け止め、医療機関との連携体制、職員教育、人員体制作りを行う。	ターミナルケアについて、当施設において可能な限り最大限のケアを提供できるように準備する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。